

## 【千葉県青少年補導（委）員活動50周年記念祝賀会】

令和2年2月1日（土）午後3時から千葉市にある三井ガーデンホテル千葉において、歴代の会長や補導（委）員、青少年センター所長等、196名の参加のもと、千葉県青少年補導（委）員活動50周年記念祝賀会が行われました。青少年補導（委）員連絡協議会三部会長の挨拶の後、環境生活部県民生活・文化課、木村課長、教育振興部児童生徒課、中西課長、千葉県青少年補導センター連絡協議会藤谷会長から御祝辞をいただき、千葉県青少年補導（委）員連絡協議会元会長の今井氏の乾杯の御発声で会が始まりました。50年の活動をスライドにしたものを鑑賞しながら、今までの諸先輩方の足跡を振り返ると共に、これからの活動が充実したものになることを再確認しました。



## 【千葉県青少年補導センター職員合同研修会】

令和2年2月7日（金）午後2時から八千代市市民会館第3会議室で、千葉県青少年補導センター職員の合同研修会が開催されました。秀明大学学校教師学部教授の花屋哲郎先生を講師にお招きし、「地域補導活動の特徴、限界及び今後の可能性」という演題でお話していただきました。

県内の青少年補導センター職員22名、お話の内容が補導委員にも共通するところがあることから八千代市内の補導委員をお誘いしたところ、八千代市内の補導委員26名が参加しました。

戦後の青少年行政の位置付けや歴史的背景、非行問題の変遷などを確認した後、青少年センターと補導委員のこれからについてお話しされました。これからの補導活動のキーワードは、「ローカル」で「ユニーク」な特性に着目することでした。困難を抱える可能性の高い子供たちに、いかにアプローチしていくか、それは広範囲ではなく地元根付いたものがよいため、地域ごとの取り組みに期待したいとお話でした。青少年センター職員として、今後の青少年センターや補導活動の在り方、補導委員の役割について深く考えさせられるお話でした。補導委員から「補導活動をしていても子供の姿を見かけない」という意見を聞きますが、世の中には困っている子供たちがいるのが現状です。今までは、目の前に目に見える子供たちを相手に「愛のひと声」をかけていましたが、これからは困っている子供たちを探し出し、寄り添い、声掛けや援助活動をしていかなければならないのかもしれないかもしれません。今日の話をつきかけにそれぞれの立場や地域で今後の在り方について考え、行動に移してほしいと深く感じました。



## 【令和元年度 第2回青少年センター運営協議会】

令和2年2月14日(金)午前10時から、八千代市青少年センター運営協議会が八千代市教育委員会庁舎の大会議室で開催されました。執行部を含め15名の出席で行われ、令和元年度の活動報告の後、令和2年度の活動計画案が検討されました。



また協議では、今年度の傾向として家出事案が多かったことから、家出事案に焦点を絞り各委員の立場でご意見をいただきました。各委員からは、子育てに悩む母親の話、思春期の中学生にどのように保護者がかかわっていけばいいのか、親からの虐待により家出をしている話、PTAとして親子が参加できる講演会を開催した等、本当に多くのご意見や事例が提示されました。

各委員からいただいた貴重なご意見をもとに、来年度の活動計画を見直したいと考えています。

## 【街頭補導状況報告】 1月1日～1月31日

### (1) 実施状況

項目 時間帯	実施回数	従事者数	補導 少年数
午前	11	28	0
午後	22	63	0
薄暮	0	0	0
夜間	2	7	0
計	35	98	0



### (2) 補導内容

行為	小中高・有職無職・男女	計
怠学		0
喫煙		0
飲酒		0
自転車の二人乗り		0
二人乗り以外の 自転車等危険行為		0
迷惑行為		0
帰宅指導		0
その他		0
計		0

## 【通報状況報告】

(1) 件数 34 (青少年センター 5 八千代警察 29)

(2) 主な内容 暴行・傷害：4 痴漢・不純異性行遊：3 たむろ：2  
窃盗行為：1 その他：19  
不審者：1 (露出：1)